



1234567890123456789012345678901234567890123

ジムソ膀胱内注入療法



概要・目的：

間質性膀胱炎に対する作用機序は十分に解明されていませんが、炎症の抑制や鎮痛などが関係していると考えられています。

通常、間質性膀胱炎（ハンナ型）の諸症状（膀胱に関連する慢性の骨盤部の疼痛、圧迫感および不快感、尿意亢進または頻尿などの下部尿路症状）の改善に用いられます。

2021年4月に保険適応となり、保険により医療を受けることが可能になりました。
杏林製薬ホームページより引用

方法：

通常、成人は2週間間隔で6回膀胱内に注入します。2週間ごとに計6回、外来で行う処置になります。

尿道からカテーテルを挿入してまずは痛みのコントロール目的に局所麻酔薬（4%キシロカイン液）を膀胱内に注入して5-10分間膀胱内に貯留させます。その後、留置して閉じておいた尿道カテーテルから膀胱内の局所麻酔薬を排出させ、ジムソを膀胱内に注入して尿道カテーテルを抜去。15分後に排尿して終了となります。

合併症(副作用・偶発症)について：

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や看護師、薬剤師に伝えてください。

- ✓ 以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ✓ 局所麻酔（歯科の麻酔）で気分が不快になったことがある。
- ✓ 妊娠または授乳中
- ✓ 他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

*泌尿器科系統：膀胱痛 30.6%、尿道痛、膀胱刺激症状（10%以上）、膀胱（下腹）部不快感、頻尿（5~10%未満）、排尿困難（5%未満）

*全身症状：呼吸臭、皮膚臭異常（ニンニク様の臭い）5~10%程度

他の治療選択肢・代替医療について：

膀胱水圧拡張術、ボトックス膀胱粘膜下注射療、仙骨磁気刺激療法、BCG膀胱内注入療法、ヘパリド膀胱内注入療法、オキシブチン膀胱内注入療法、食事療法、内服療法、経過観察などがあります。現在、本治療と同等の治療成績が得られ、確立した他の治療法があれば主治医・担当医から説明があります。また患者さんもそのご家族も病気や治療に対する理解を深めるために疑問に思われることは遠慮なくご質問下さい。

患者さんご本人の年齢や全身状態や合併疾患、病変の大きさや広がり、ハンナ潰瘍の重症度を考慮して治療法を提示しています。ご希望に沿った治療法を選択して下さい。ご不明な点はご理解を深めて頂けるようにご質問下さい。

セカンドオピニオン・自由意思による治療の同意とその撤回・ご本人の自己決定権について：

最終的な検査・治療方針の決定は患者さんご本人によってなされ、そのためにセカンドオピニオンを得る機会があります。また、予定される検査・治療に同意しない場合でも一切不利益をうけることはありません。また治療を開始した後でも、考えが変わった場合にはいつでも同意を取り下げることができます。この場合も、今後の治療や看護などの診療内容に不利益になることはありません。

説明日 @SYSDATE

同愛記念病院 @PATIENTFORMALSECTIONNAME

説明医師： @ACTIVEUSERNAME 印またはサイン 同席者： _____

私は、ジムソ膀胱内注入療法の目的、方法および副作用・合併症について、上記の内容を読み、また医師の説明により十分に理解しましたので、上記の検査・治療を受けることに同意します。

なお、緊急の処置・治療を行う必要が生じた場合には、適宜施行されることについて同意します。

同愛記念病院 院長 殿

年 月 日

本人氏名 _____ 印 ※署名がある場合は押印不要

家族等氏名 _____ 印（本人との続柄 _____）

※本人の署名がある場合は家族等の署名は不要 ※本人が署名不能な場合や未成年者の場合には家族等の署名が必要